

ムーンショット型農林水産研究開発事業  
成果報告会 アンケート結果

満足・概ね満足の方の意見	1	講演内容が非常に興味深く、演者の先生のお話も非常に分かりやすい内容であった。我々人間が永続的に地球という惑星で生きていく上で、ムーンショット目標5の事業に基づく環境改革や意識改革は必要不可欠であると考えています。今後も引き続き事業を継続して頂き、より良い未来を迎えられるようにして頂きたい。(民間企業・団体)
	2	すべての講演を聞くことがかなわなかった。参加者向けに、オンデマンド配信していただけると、とてもうれしい。(教育機関)
	3	畜産からの温室効果ガス低減の対策、新規タンパク質資源開発からのアプローチなどについて、非常に興味深いお話を聞くことができました。(民間企業・団体)
	4	国際協調、国際ルールメイク等の視点が欠けていないか。(行政機関)
	5	良い取り組みだと感じています。今後はプロジェクト間のさらなる連携を期待しています。(教育機関)
	6	投影したPPTを共有頂きたい。配布資料(講演集など)が欲しかった。(民間企業・団体)
	7	「今日からできる事。」しっかりと意識して、行動したいと思います。(消費者)
	8	いかにして一般の方に周知するかが、個人的にも重要であると考えています。自分だけでなく、「友達や家族にも教えてあげよう」という行動を心がけていきたいと思います。(学生)
	9	研究資源の有効利用のため、プロジェクト内で本当に必要な部分だけを残すなどシェイプアップが必要(民間企業・団体)
	10	国や民族が異なっても、世界的に消費者や一般市民が自然に(意識改革をしなくても)環境保全に協力できる商品や取り組みを生み出してほしい。(研究者—MS事業関係者以外)
	11	本報告会の録画を、その一部でもウェブ配信していただくと知人等に広く紹介できそうに思います。(その他)
	12	達成に向けて複数の取り組みを国が支える意義を、この目標5には大きく感じました。全てがうまくいかなくとも、取り組み続けることが大切に思いました。(研究者—MS事業関係者)
	13	畜産関係であるため、SDGsや環境政策に対し、非常に肩身の狭い思いをしている。また、みどりの食糧戦略においても、畜産に対する施策、目標が少ないと感じているので、北大の小林PMや農研機構の農水省の試験に対し、非常に期待している。(研究者—MS事業関係者以外)
	14	研究者はかなり頑張っている。しかしその成果を生かすも殺すも国民や世界の人々の意識にかかっていると感じた。特に食育や道徳教育がもっともっと重要になってくる気がした。(研究者—MS事業関係者以外)
	15	特にAI Nutritionの研究は興味を惹かれました。食事という日々のルーティンから健康を実現することができるかもしれないということが生活に馴染みやすく、気になる技術でした。食事管理や制限という側面に陥らないように実装を実現していただけることを願っています。(行政機関)
	16	輸出金額が1兆円を超え、喜ばしい限りですが、2050年に10兆円、オランダに匹敵するようなビジネス拡大を目指すというような目標設定はしないのでしょうか？(教育機関)
	17	開発目標達成に向けて必要な研究項目が集められているのか、実施したい研究項目を集めて事業にまとめているのか、疑問を感じる研究項目もありました。(研究者—MS事業関係者以外)
	18	地球環境と私たちの生活を維持するために、他の多くの分野での研究者の方たちにも、共通の問題意識、知見の共有やビッグデータの開示などが、可能なプラットフォームがあればお示しください。ない場合は開設して頂けたら良いと願います。(学生)
	19	土壌微生物の力で、化学肥料削減のお話はありましたが、今回、水耕栽培(太陽光型、人工光型植物工場)のお話はなかったのですが、環境に対して良くないのでしょうか。海上栽培の話はありましたが、垂直栽培などを使用する事で、作物の生産を増やせるのではないかと思います。害虫の話はありましたが、害獣から作物被害を減らす取組の話はありませんでした。食料増産への影響は少ないとの考えか。(民間企業・団体)
	20	①こうした取り組みは、全世界で実行されているのか？(※共有化という実効性のない連携方法は意味がない。)②国民(世界の人たち)に、2050年には食糧危機が起こりえるという危機感を与える事。③マスコミも正確にその情報を提供する事。④食糧不足が考えられるからこそ、戦争及びそれに類似した国際論争が起こっている事を啓蒙する事。⑤この開発事業に関わる助成金の額を明確に提示する事。(民間企業・団体)
	21	ムーンショット目標5による成果の実現に多いに期待いたします。この地球規模での危機回避対策が、先進諸国等が享受する単なる経済発展目的のみとして推し進められることの無きよう、先導していただくことを強く望みます。(民間企業・団体)
	22	28年後に振り返って、あのころから準備していて正解だった、景色が全然変わったと思えるようでありたいと思います。直近でも社会環境の変化が顕著ですので、一日も早く細胞農業の成果や昆虫由来の餌で飼育された畜水産物を当たり前のものとして提供できるように、これからも関心を持ち続けたいと思います(民間企業・団体)
	23	総じて面白かったのですが、少し厳しいことも言いますと、最初の藤原先生のプロジェクト以外に地域的な視点がほとんどないことに不安を感じました。我が国の特殊でいびつな食料システムの状況にやや足をすくわれている印象を持ちました。特に土壌の健康のプロジェクトはアトラスという限り、地理的な違いに基づく姿勢が必要です。土壌の健康に対する、国内外のこれまでの考え方や取り組みについてのレビューを示し、本プロジェクトの目指すものを明瞭にしてほしいと思いました。(研究者—MS事業関係者)

満足・概ね満足の方の意見	24	興味のある目標のプロジェクトに民間企業として、なんらかの形で関与したい場合、どうやってコンタクトさせて頂けばよいか教えて頂きたい。(民間企業・団体)
	25	率直に言うと、目標に対して必要かどうかあいまいな課題も含まれているように感じた部分があります。(民間企業・団体)
	26	全ての先生方のお話に通ずる内容として、やはり食に対する意識改革をどう引き起こすかが重要だと感じました。技術で全てを解決するのではなく、技術開発の開発・普及をきっかけとして未来の食を考える機会を増やすことが大事なのだと思います。そうした意味で、今回のような発表会の意義も大きいと感じました。(研究者—MS事業関係者以外)
	27	総合討論の進め方で、PDとゲストのやりとりから展開していく形に好印象を持った。バックキャストを意識した目標設定の一方で、社会実装を強く意識されている課題もあると認識。スピニアウトさせるタイミングについて注目したいところ。(行政機関)
	28	「フードロス削減とQoL向上を同時に実現する革新的な食ソリューションの開発」はタイトルとは異なり、3Dプリンタの開発が主なテーマに感じられ、全体の構想が分かりずらかった。(研究者—MS事業関係者以外)
	29	30年後に予測される地球や人類の姿や課題等が認識できた。また、それを解決する手段もあるし、国家規模・国際規模で進められていることも理解できた。個人の課題として今現在の生活水準等も見直していく必要性についても改めて考える機会となり、とても勉強になった。(民間企業・団体)
	30	日本にとっても、世界にとっても待ったなしの課題であり、より多くの人がもっと危機感を持って様々な角度から課題解決に臨むべきと感じた。地方農試としては、目先の農業者の所得向上対策を優先課題としているが、大企業が流通消費の主流を担う担う中で、いかに国民運動として、今回報告のあった対策等をどう受け入れるかの意識改革や体制づくりが不可欠と思う。(研究者—MS事業関係者以外)
	31	本目標は日本、地球で人が暮らし続けるために非常に重要なことであるが、防衛産業などある意味相反する方向へ向いていると考えます。これら全体で整合性をとって進めていく必要があると思います。(研究者—MS事業関係者以外)
	32	今後も定期的に開いてほしい。(報道関係)
	33	発表内容が良くまとめられており、どこを目指し現在、何をしているかが概略として理解できた。先端技術の開発場面で知財確保の競争は必然ですが、SDGsの課題解決は協創の取組であるという高い次元での融合を期待します。(行政機関)
	34	大学等研究機関での研究状況についてよくわかりましたが、社会実装するためのかじ取り等を誰が推進するのがとても気になりました。関係機関のご努力に敬意を表します。(民間企業・団体)
	35	研究成果を逐次、英文でインターネット上に公開して海外へのPRに努めてほしい。我が国は、国際共同研究が欧米に比べて非常に少なく、そのことが世界での自然科学の地位低下に繋がっているため、MSプロジェクトを足がかりに海外との共同研究についても積極的に進めるよう、国としても後押ししてほしい。(教育機関)
	36	全体を通して感じたことですが、マイナスをゼロにするという視点だけではなく、生活者や生産者などのエンドユーザーがメリットを享受できるようにすることが、社会実装されるためには必要なのではないかと考えさせられました。(民間企業・団体)
	37	生物多様性喪失抑制に関する取り組みが重要だと考えます。(民間企業・団体)
38	実際に研究内容を拝聴して初めて意義を理解できたこともあったことから、(国民理解のため)このような研究発表会は今後も継続していくのが良いのではないかと。但し、知財の海外流出には留意すべきと考える。(行政機関)	
不満・やや不満の方の意見	1	国際的な研究成果から客観的な評価が必要。昆虫食の件についてはアメリカミズアブの利用がなぜ国内ミズアブの選定に？日本の独自性を見せなければならないのか？(民間企業・団体)
	2	オンラインの質問にもっと回答時間を割いて欲しかった。質問はみんなが見れるようにしてほしい。(民間企業・団体)
	3	発表技術が稚拙なだけでなく、準備がなおざりであることから、理解することが困難であった。(消費者)
	4	純粋に研究成果、今後の展開について議論できる場を設定し、その上で一般を対象にした公開セミナーを開催するとよいと思います。(研究者—MS事業関係者以外)
	5	内閣府が進める技術による問題点の克服の考えと、高橋PMが主張した脱成長の考えを、もう少しお互い意見交換できる場をいづれ作ってほしい。(研究者—MS事業関係者)
	6	目標5全体で一体化した社会実装に向けた取り組みについて具体的な検討を始めていただきたいです。各要素技術をインストールする事で農業生態系を含む生命圏全体の物質循環の収支も見据えた科学的な取り組みを行っていく必要があると思います。竹山先生のプロジェクトにシミュレーション研究は盛り込まれているようですので、その辺を基点として議論を行ってみたいは如何でしょうか？(研究者—MS事業関係者)
	7	一部の課題ではあったが、目標ばかりが強調され、これまでに得られた実際のデータの提示が少なく、理想の姿に近づいているのか分からないものがあった。(研究者—MS事業関係者以外)
	8	課題解決ができていない。(教育機関)